

明日をひらく都市  
OPEN × PIONEER  
YOKOHAMA

令和7年10月24日  
脱炭素・GREEN×EXPO推進局  
GREEN×EXPO推進課

中山 竹春 横浜市長が、株式会社ピエクレックス 代表取締役社長 玉倉大次氏と面会しました  
GREEN×EXPO 2027を契機に、横浜から循環型社会を実現へ

本日、中山竹春横浜市長は、(株)ピエクレックス社 玉倉社長と面会し、アパレル製品の循環サイクル構築の重要性や、循環型都市の実現に向けた横浜での展開などについて意見交換を行いました。

(株)ピエクレックス社は、大阪・関西万博のユニフォーム(インナーシャツ)を提供されており、GREEN×EXPO 2027における社会実証プロジェクトのために共同企業体「Team P-FACTS」を新たに立ち上げられました。このたび、「Team P-FACTS」は、GREEN×EXPO 2027におけるボランティア等(1万人規模)のサークル・ユニフォームの提供から、会場内での資源循環プロセス「100%植物由来で作ったユニフォームの着用→回収→100%堆肥化」の展開、啓発イベントまでを一体的に協賛いただきます。

横浜市と(株)ピエクレックスは、GREEN×EXPO 2027を契機とした共創による実践的なアクションを通じて、持続可能でグリーンな都市の実現につなげていきます。



フォトセッションの様子



玉倉 大次 代表取締役社長との対談の様子

※写真データをご希望の場合は、お問合せ先(脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課)までお問い合わせください。

中山 竹春 横浜市長のコメント

このたび、株式会社ピエクレックス様に、「GREEN×EXPO 2027」において、サークル・ユニフォームをご提供いただくとともに、会場内でユニフォームを資源循環させる社会実証を展開いただきますこと、深く感謝申し上げます。

横浜市が目指す循環型都市の実現には、私たちの生活に欠かせないアパレル製品の循環サイクルの構築が極めて重要です。「GREEN×EXPO 2027」で得られた知見を活かし、未来の循環型社会を先取りする、市民参加型の循環モデルを横浜で構築し社会実装につなげていくことで、この万博のレガシーにしてまいります。

「GREEN×EXPO 2027」を契機とした企業とのさらなる共創を通じて、横浜市は循環型のグリーンな社会の実現に向けて、世界の環境政策をリードしてまいります。

お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO推進局 GREEN×EXPO推進課担当課長 谷田 広紀 045-671-4934



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

